



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 Tel(78)1121  
 会長 山田 益 幹事 唐澤幸利 会報委員長本田敏和 第3012回 例会2023.12.21 No.1672



世界に希望を生み出そう

2023-24年度 RI テーマ

CREATE HOPE  
In the WORLD

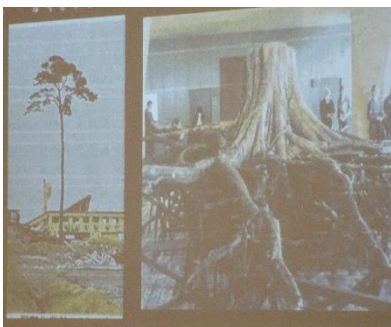
## ソング 我等の生業

## 会長談話 山田 益会長

奇跡の一本松は、陸前高田市の高田松原に立つ松の木のモニュメントで、東日本大震災の震災遺構の一つです。2011年3月11日



14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震は大規模な津波を引き起こし、東日本の太平洋沿岸部を襲った。津波の第一波は高田松原付近に15時23分頃到達し、最大



17mの高さをもって約7万本の高田松原の松をほぼ全て(一本を残して)なぎ倒した。しかし残った一本の松は10m程度の高さまで波をかぶったものの、倒れずに津波に耐え枝も幹も無事な状態で残った。一本松から40mほどの場所に有った「陸前高田ユースホテル」は全壊した。被災した住民の間からは一本だけ生き残った事を「奇跡」だと表現した。そこでこの松を「奇跡の一本松」と呼ばれるようになった。

高田松原の7万本余りの中で一本だけ生き残った理由は、一本松と海との間にユースホテルが建っていたため建物が防波堤となり津波の直撃を防いだ形になった事と、押し寄せた津波が引いていく際、一本松から見て陸側に有る高架道路が堤防の役目を果たし引き潮の衝撃を弱めたと思われる。加えてこの松の幹(胸高直径は87cm)が他の松より太かったことと、根の大きさが13m、深さが3mだったからです。ちなみにこの松は高さ27.7m、樹齢173年です。

しかし震災を生き延びてきた一本松でしたが、震災当日は10時間ほど海水に水没していたことと津波により油や化学物質が根元の土壤に染み込んでいた事や、幹にも漂流物で傷がついていました。また地震のため周囲の地盤が80cm程度沈下して根が海水につかるようになりました。こんな事で2012年2月には防腐剤を塗布しましたが、枯死状態にある一本松は倒壊の恐れが有り、台風や雷の被害を受ける事が懸念されたため陸前高田市は最終的な保存方法で、なるべく現状に画会社「乃

村工藝社」(日本一大きい:売上1000億円)の案を採用して、現場に自立することとなりました。

2012年7月20日に公表された計画は次のようになりました。①幹を5分割し、中心部をくりぬいて金属製の心棒を通して元の場所に設置、②枝葉部分は現物を保存することが難しいので複製を製作する、③根の部分は切除して保存する、④雷対策は避雷針を設置。主要工程は、「施工」(株)乃村工藝社(陸前高田市)、「構造設計」航空宇宙技術振興財団(仙台市)、「中心部くり抜き」(株)ヤトミ製材(愛知県弥富市)、「防腐処理」(株)吉田生物研究所(滋賀県大津市)「心棒製作」(株)信濃工業(長野県宮田村)、「心棒接合」(株)カドコーポレーション(兵庫県たつの市)、「枝葉部分:型取り・複製」(有)パウ(神奈川県相模原市南区)となりました。工期は2012年9月12日から2013年6月末までとなりました。また金属製の心棒では重量が有り過ぎるため構造設計から軽くて強度のある「CFRP:炭素繊維強化プラスチック」製に変更を求められ国内では唯一の太いパイプ(直径50cm)長さ6mの出来る(株)信濃工業に発注されたのです。長野県の企業が協力することになりました。

㈱信濃工業は、1972年私の兄「青木拓」社長が宮田村で創業して、グラスファイバー釣竿、カーボン製ゴルフシャフト製造、そして最近では半導体をはじめ産業機械向け大型パイプに挑戦しています。私は創業より役員で入っています。更に2020年には第5工場を竣工して大型カーボンファイバーパイプ製造の生産体制を完成しました。パイプの製造設備は全て社内ですべて設計製作を進めています。この度の「奇跡の一本松」向けCFRPパイプの寸法は、①直径46cmX長さ6m:1本、②直径43cmX長さ6m:1本、③直径40cmX長さ6m:1本の合計3本を2012年年末までに、心棒接合の兵庫県たつの市:㈱カドコーレーションに納入しました。

「奇跡の一本松」の保存工事は2013年7月3日に保存事業完成式が現地で開かれました。

### 幹事報告 唐澤幸利幹事

1. 地区事務所からのお知らせです。
  - ① 2024-25年度地区補助金申請の手順をお送りします。覚書(MOU)の提出期限は、2024年1月31日(水)です。
  - ② 地区事務所の年末年始休業は、2023年12月27日(水)～2024年1月4日(木)までです。
2. 小諸RC・小諸浅間RCより、事務局員変更のお知らせです。新事務局員 大木深雪(おおきみゆき)さんです。

### ☆お知らせ

- ・第64年度 第3期分会費 55,000円  
誕生日祝 5,000円  
結婚記念日祝 5,000円  
これらを1月10日(水)銀行口座より、引落しさせていただきますので、よろしくお願ひ致します。
- ・各委員会委員長で「下期事業計画」のご提出がまだの方は、25日(月)までに事務局までお願ひ致します。
- ・事務局の年末年始休業は、12月27日(水)～2024年1月4日(木)までです。
- ・本日例会終了後、顕彰審査委員会・理事会を開催致します。役員・理事の方はご出席下さい。
- ・次回は25日(月)年末家族会です。なお、当日体調の悪い方は無理をなさらず、15時までに事務局までご連絡下さい。

・新年最初の例会は、1月11日(木)「新年例会」です。

**出席報告** 会員数57名 内出席免除者19名  
出席者31名 事前ミーティング0名 出席率70.45%

### ニコニコボックス

- ・藤澤秀敬、藤澤洋二 第1回クリスマスいちご選手権に、伊那バスが入賞できました。
- ・平出吉範 第65期役員・理事を発表させていただきます。

### I GM報告

A班 吉田秀樹会員 B班 荒木康雄会員  
C班 平出吉範会員 D班 唐澤洋祐会員



※内容は11月30日会報に掲載

### 年次総会

#### ○中間監査報告

藤澤秀敬監査人より、12月12日小林孝行監査人と共に、第64期7月1日～11月30日までの会計監査を行いました。帳簿等、会計が適正に行われていることを報告致します。

#### ○指名委員会報告

荒木康雄直前会長より、第66期会長 小河節郎会員・幹事鈴木正比古会員が発表された。

#### 第66期 鈴木正比古幹事

来年はクラブ管理運営委員長、次は幹事となかなか休めそうもありません。幹事として小河会長の元、有意義で楽しいクラブ活動をしていただければ、がんばっていききたいと思います。

#### ○次期役員・理事発表

平出吉範会長エレクトより、第65期(2024-25年度)役員・理事(案)が発表され、承認された。

